



2025年11月15日 第181号
NPO 法人町田市学童保育クラブの会
所在地 町田市中町 1-19-5
大貫ビル 202
電話 042-794-7235
広報担当 発行

12 クラブ合同行事を今年も開催予定です

各クラブから実行委員を募り、今年も当法人が運営する12の学童保育クラブの合同行事を企画しています。実行委員はオンラインで会議を行いどんなことをしたいか話し合い、ドッジボールをすることに決めました。人気のあそびの一つであるドッジボールですが、クラブによってルールが様々なため、ルールを持ち寄って決めたり、当日の司会進行などの役割を決めたり、冬の開催に向けて準備を進めています。クラブの垣根を越えて会議や行事を通じて、子どもたちの人間関係や社会性の幅を広げる貴重な機会になると考えています。



親善ソフトボール大会を開催しました

9月28日(日)に相原中央公園のグラウンドにて、親善ソフトボール大会を開催しました。3クラブの現役保護者とOB保護者の方々と有志の支援員が集まりました。図師・なかよしチーム、大戸のびっ子チーム、支援員チームの3つのチームの総当たりで試合を行い、秋晴れの空のもと快音が響きました。チームの中には現在学童保育クラブに通う子どもたちだけでなく、卒会生の姿もありました。選手として同じチームの保護者の皆さんと試合をしたり、打席上で支援員との再会を喜び合う場面もあったりしました。ソフトボール大会を通じて、現役とOBの保護者の交流や、保護者と支援員の交流の機会になりました。

目次

- 1 面：12 クラブ合同行事を今年も開催予定です/
親善ソフトボール大会を開催しました
- 2 面：町田市内学童保育クラブ絵画作品展/
保育参加の感想
- 3 面：『保護者と職員の学習会』を開催しました/
新任職員紹介
- 4 面：連載企画『12 クラブのあそび大集合!』



今後の予定

ぶちくれよんひろば(子育て支援事業) 日程

12月開放：10日

企画：17日

1月開放：14日、21日

企画：28日



正会員・賛助会員募集

会員を募集しております。当法人にご賛同いただける方は、法人事務局までご連絡ください。

個人正会員 一口3000円以上

個人賛助会員 一口1000円

問い合わせ先：042-794-7235(法人事務局)

町田市内学童保育クラブ絵画作品展

町田市社会福祉協議会主催の『町田市内学童保育クラブ絵画作品展』の作品募集が行われ、成瀬中央あおぞら学童保育クラブから1名の児童の作品が入賞しましたのでご紹介いたします。今年のテーマは『わたしの宝物』、『わたしの夢』です。入賞おめでとうございます。

【絵画展開催について】

日 程：2025年12月4日（木）～12月7日（日）

時 間：午前10時～午後6時30分

会 場：町田市立国際版画美術館 市民展示室



『さんたくろうす』

小島 ゆいさん

保育参加の感想

普段子どもたちが学童保育クラブでどのように過ごしているのか、知っていただく機会として保護者の方が保育に参加をする保育参加を行っています。今年の夏休みに保育参加を行った学童保育クラブで保護者の方より感想をいただきましたので、ご紹介します。ご参加していただいた皆様、ありがとうございました。

今まで連絡ノートの中や、家で子どもとの会話に出てきた友達に実際に会えて名前と顔が一致したり、違う学年の子ども達も自分の話をたくさんしてくれたり、一緒にドッジボールをしたり、楽しい時間を過ごすことができました。異なる学年の子ども達と一緒に生活やあそびをする大切さも理解しつつ、やっぱり体格やできることの差があって大変なことだと改めて感じました。日々の支援員さん達の心遣いと苦労に感謝しています。ありがとうございました。

わんぱく学童保育クラブ1年生 母

本日はありがとうございました。子ども達の多さにびっくりしました。3年生以上の子のやさしい声かけや、1年生が2年生以上と楽しそうにおしゃべりしている姿をみて、縦のつながりを感じました。我が子もその姿から素敵なお姉さんに近づいてほしいと思いました。

成瀬中央あおぞら学童保育クラブ2年生 母

保育参加、短時間でしたが子ども達のパワフルなパワーをたくさん感じられた濃い時間となりました。毎回、水鉄砲の水遊びで、上下びしょ濡れで帰ってくる服を見てどんな風に遊んでいるのかなと思っていましたが、参加してみて謎が解けました。来年参加する機会があれば（水遊び）下は水着で、完全装備で挑みたいと思います。我が子が日常で遊ぶ異年齢の友達や同学年の友達と一緒に遊ぶことができ、改めて支援員さんの大変さや優しさに感謝の気持ちでいっぱいでした。また、何かのチャンスがあれば参加させて下さい。いつもありがとうございます。

図師学童保育クラブ1年生 母

『保護者と職員の学習会』を開催しました

9月6日（土）町田市民ホールにて、保護者と職員の学習会『絵本×価値観発見～価値観から見えてくる自分らしい子育てとは？～』を開催しました。講師には、絵本 life デザイニスタ mishmar の鈴木由香さん（わんぱく学童保育クラブ保護者 OB）をお招きし、参加者自身の価値観を捉え、自分にとって一番大切なことや大切にしたいことは何かを考えていきました。

まず、講師による3冊の絵本の読み聞かせが行われました。特に絵本『ねえ、どれがいい？』の読み聞かせでは、作中の選択肢に対し、参加者が挙手で自分の選ぶものを表明する場面がありました。参加者は、お互いの選択の違いに声をあげて反応し合う中で、価値観の違いがあることに気づき、その後グループに分かれて感想を共有しました。

次に、グループメンバーと『価値観探求カード』を使ったグループワークを実施しました。価値観を連想させる言葉が書かれた60枚のカードを使い、前後の人とカードを交換したり場に捨てたりしながら、手元に5枚のカードを残し続けるという作業を5周行いました。最終的に残った5枚から3枚を厳選し、さらにその中の1枚を『自分自身の一番大切にしている価値観』として選び出しました。参加者は選んだカードをグループのメンバーと見比べたり、写真に撮って眺めたりして、自己の価値観を深く見つめ直しました。



まとめの場面では、講師から『自分が大切にしている考え方を子どもに押し付けていないか』『同じ家族でも違う考え方を否定していないか』という重要な問いかけがありました。そして、「お互いの価値観を大切にしていきましょう」という言葉で学習会は締めくくられました。参加者は、絵本の読み聞かせやグループワークを通して、自分が大切にしている考え方や価値観を見つめ直すことができただけでなく、同じグループの参加者の価値観にも触れることができました。参加者同士が交流できる場面もあり、終始和やかな雰囲気にも包まれ、笑顔あふれる時間となりました。



✿ ✿ ✿ 新任職員紹介 ✿ ✿ ✿

10月に入職した正規職員をご紹介します。

①マイブームは？ ②好きなあそび・得意なあそび ③意気込み



①料理
②折り紙
③より子ども達が楽しく学童保育クラブで過ごせるように、より良い環境作りをしながら折り紙を普及していきます。

なかよし学童保育クラブ
まるやま りょうた
丸山 涼太



①サウナ・モルック
②ボードゲーム・ことばあそび
③あそびを通して、子どもと関わりつつ、『保育』という考えを大切にしていきたいと考えています。

どろん子学童保育クラブ
ふじぬま かい
藤沼 海

12 クラブのあそび大集合！



今年度の連載企画は『12 クラブのあそび大集合！』と題して子どもたちのあそびの様子を紹介していきます。今、学童保育クラブで流行っているあそび（室内あそび・外あそびの様子等）を取り上げ、写真や文章を通して知っていただければと思います。また、支援員の子どもの頃好きだったあそびについても紹介します。



成瀬中央あおぞら学童保育クラブ

同じ大きさの平たい板を使って色々な作品を作ることが流行っています。学年関係なく皆で大きな塔を作ったり、一人ひとりおうちを作ったりと楽しそうに遊んでいます。時には部品が足りなくなって友達と取り合いになることもあります。話し合いをして譲り合い、工夫して作ることも学んでいます。また、せっかく高く積み上げてもあと一歩のところで崩れてしまうこともあります。諦めずに積み直し、最後は素敵な作品と記念撮影をしてにっこり笑顔の子どもたちです。



中に入っていますよ！



図師学童保育クラブ

工作に夢中になる子どもが多く、あそびの時間になると真剣な表情で材料を選び、工夫を重ねて自分だけの作品を日々作っています。完成に近付くと、自然に友達も集まって一緒に遊び始めます。ある日は、『おみこし』が完成すると周りの友達は集まって一緒に遊びます。後から加わった子どもたちと作品に改良を重ねて完成させ、「わっしょい！わっしょい！」と元気よく室内を担いで歩き、大いに盛り上がっていました。作った喜びを友達と分かち合い全力で楽しむ光景は、図師クラブならではのあそびとなっています。



支援員の子どもの頃好きだったあそび紹介

釣りあそびに熱中していた時期がありました。餌を求めて、オオブタクサの茎や、枯枝の中にいるスギヒメハマキなどの幼虫探しも楽しみの一つでしたが、大人になった今では触れません。捕まえた幼虫を餌にして、モツゴやヨシノボリなどの魚を主に釣っていました。そして誰が一番大きな魚を釣ったか、珍しい魚を釣ったか、たくさん釣ったかなどを競うのも楽しみの一つでした。

釣った魚は川の流れが弱い場所に作った石の囲いに放流し観察をします。すき間から逃げたり、跳びはねて逃げたりしてしまうのもご愛嬌です。そして、時々釣れる鯉などの大きな魚を入れると石の囲いは壊されてしまうのですが、頭では分かっているのに、入れては壊されての繰り返しでした。この繰り返しもまた釣りあそびの一興だったのだと今では感じています。